

＝ 会 告 ＝

講演会・見学会等の開催予定

2018年8月20日現在

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2018年9月 9日(日)～ 14日(金)	2017年 7月15日(土)	2018年 7月1日(日)	第31回 国際航空科学会議 ペロ・ホリゾンテ大会 (ICAS2018)	ペロ・ホ リゾンテ (ブラジ ル)			65巻5号 会告4頁参照
2018年9月 11日(火)			平成30年度「空の日・宇 宙の日」記念特別講演会	東京都	日本航空技術協 会, 日本航空協 会		66巻8号 会告4頁参照
2018年9月 14日(金)			日本航空宇宙学会 関西支部 第468回航空宇宙懇談 会	神戸市		関西支部	66巻8号 会告6頁参照
2018年9月 28日(金)～ 30日(日)	2018年 4月27日(金) エントリー受 付開始		第14回全日本学生室内 飛行ロボットコンテス ト	東京都	(予定)東京都大 田区, 宇宙航空 研究開発機構, 大田ビジネス創 造協議会	飛行ロボッ トコンテス ト委員会	
2018年10月 16日(火)～ 18日(木)			アジア太平洋 航空宇宙技術国際 シンポジウム 2018 (APISAT-2018)	成都 (中国)	CSAA, RAeS Australian Divi- sion, KSAS	APISAT 連絡・実 行 委員会	
2018年10月 19日(金)			日本航空宇宙学会 関西支部 第469回航空宇宙懇談 会	池田市		関西支部	66巻9号 会告5頁参照
2018年10月 24日(水)～ 26日(金)	2018年 6月1日(金)	2018年 8月6日(月)	第62回宇宙科学技術 連合講演会	久留米市	(予定)宇宙航空 研究開発機構, 強化プラスチック 協会, 生工 学会, 生命の起 原および進化学 会, 地球電磁気 ・地球惑星圏学 会, 電気学会, 日 本機械学会, 日 本天文学会, 日 本赤外線学会, 日本惑星科学会	宇宙航行部 門委員会	66巻5号 表3頁参照
2018年11月 14日(水)～ 16日(金)	2018年 6月15日(金)	2018年 8月31日(金)	第56回 飛行機シンポジウム	山形市	日本航空技術協 会	空気力学, 材料, 構造, 機器・電子 情報システ ム, 飛行力 学, 生産技 術, 航空機 設計, 特殊 航空機, 回 転翼航空機 運航・整備, 原動機・推 進, 航空交 通管理の 12部門委 員会	66巻5号 会告3頁参照
2018年11月 22日(木)	2018年 8月31日(金)	2018年 10月19日(金)	日本航空宇宙学会 西部支部講演会 (2018)	福岡市		西部支部	66巻6号 会告6頁参照
2018年11月 24日(土)	2018年 9月14日(金)	2018年 10月12日(金)	第55回日本航空宇宙学 会中部・関西支部合同 秋期大会	名古屋市	(予定)名城大学	中部支部 関西支部	66巻8号 会告6頁参照
2018年12月 1日(土)	2018年 8月27日(月)	2018年 10月1日(月)	第24回スカイスポー ツシンポジウム	東京都	日本航空協会	スカイスポ ーツ委員会	66巻6号 会告8頁参照

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2019年3月 6日(水)～ 8日(金)	2018年 10月19日(金)	2018年 12月19日(水)	第59回航空原動機・ 宇宙推進講演会	岐阜市	(予定)日本機械 学会,日本ガス タービン学会, 日本航空技術協 会	原 動 機・推 進部門委員 会 電 気 推 進・ 先端推進部 門委員会	66巻8号 会告5頁参照
2019年6月 15日(土)～ 21日(金)	2018年 10月31日(水)		第32回宇宙技術およ び科学の国際シンポ ジウム(32nd ISTS)	福井市		第 32 回 ISTS 組織 委員会	66巻8号 会告11頁参照

会員数 (平成30年7月現在)

資格	正会員	学生 会員	名誉 会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
7月会員数	3224	1057	51	0	61
6月会員数	3220	1050	51	0	61
差 引 増 減	4	7	0	0	0

新入会員名簿正会員 (敬称略)

岩城陽大 (宇宙航空研究開発機構), 小菅敏夫 (デジタル
ハリウッド大学), 齊藤翔太 (防衛装備庁), 熊倉禎男 (中
村合同特許法律事務所), 小原孝一 (Gulfstream Aero-
space Corporation), 植松明久 (宇宙航空研究開発機構),

浅田啓幸 (立命館大学), 酒井貴行 (三菱電機(株)), 菊地
亮太 ((株)富士通研究所), 大塚 光 (川崎重工業(株)),
佐々木貴広 (大阪府立大学), 片山裕貴 (金沢工業大学)

新入会員名簿学生会員 (敬称略)

田端謙一 (慶應義塾大学 院), 尾形柚太郎 (帝京大学
院), 輪倉光矢 (秋田大学), 松尾 樹 (東海大学), 小田
壮士 (九州大学 院), 松川杏平 (九州大学), 河原林大恩
(日本大学 院), 上菘義幸 (東北大学 院), 藤原侑亮 (早
稲田大学), 比護悠介 (東海大学 院), 石塚沙也子 (東北
大学), 南海昂輝 (東北大学 院), 羽山 諒 (名古屋大
学), 森 光汰 (慶應義塾大学 院), 井上拓実 (横浜国立
大学 院), 福井太志 (高知工科大学 院)

本 会 共 催 ・ 協 賛 ・ 後 援 行 事

No. 18-105 講習会

「伝熱工学資料 (改訂第5版)」の内容を
教材にした熱設計の基礎と応用

主 催 : 日本機械学会

協賛 (予定) : エネルギー・資源学会, エレ
クトロニクス実装学会, 化学工学
学会, 可視化情報学会, 空調調和・衛
生工学会, 低温工学・超伝導学会,
日本エネルギー学会, 日本ガスター
ビン学会, 日本結晶成長学会, 日本
原子力学会, 日本航空宇宙学会, 日
本混相流学会, 日本伝熱学会, 日本
熱物性学会, 日本燃焼学会, 日本流
体力学会, 日本冷凍空調学会, プラ
スチック成形加工学会, IEEE EPS
Japan

開催日 : 2018年9月27日(木), 29日(金)

会 場 : 日本機械学会 会議室 (東京都新宿
区)

定 員 : 50名

聴講料 : 会員 (協賛学会会員を含む) 26,000
円, 会員外 40,000円, 学生員 6,000
円, 一般学生 10,000円

問合せ先 : 日本機械学会熱工学部門 (担当職
員 : 小倉)

TEL : 03-5360-3502

E-mail : ogura@jsme.or.jp

63rd FRP CON-EX 2018

(第63回 FRP 総合講演会・展示会)

主 催 : 強化プラスチック協会

協賛 (予定) : 日本航空宇宙学会 他

開催日 : 2018年10月25日(木), 26日(金)

会 場 : 日本大学理工学部 駿河台校舎 (東
京都千代田区)

問合せ先 : 強化プラスチック協会

TEL : 03-5812-3370

FAX : 03-5812-3375

E-mail : frp.con-ex2018@jrps.or.jp

第3回 FRP 講習会

主 催 : 日本複合材料学会

協賛 (予定) : 日本機械学会, 日本航空宇宙
学会, 強化プラスチック協会, プラ
スチック成型加工学会, 日本材料学
会

開催日 : 2018年11月5日(月)

会 場 : 日本大学理工学部 駿河台校舎

定 員 : 100名 (申込み先着順)

聴講料 : 会員 (協賛学協会会員を含む)
20,000円, 非会員 30,000円, 学生
10,000円

問合せ先 : 日本複合材料学会事務局

TEL : 03-5981-6011

FAX : 03-5981-6012

E-mail : jscom@asas-mail.jp

平成30年度溶接工学専門講座「界面接
合で実現する高品質なものづくり
～界面接合の基礎と応用と実例

主 催 : 溶接学会

協賛 (予定) : 自動車技術会, スマートプロ

セス学会, 精密工学会, 石油学会,
土木学会, 日本鑄造工学会, 日本機
械学会, 日本金属学会, 日本建築学
会, 日本原子力学会, 日本航空宇宙
学会, 日本材料学会, 日本接着学
会, 日本船舶海洋工学会, 腐食防食
学会, レーザ加工学会 他

開催日 : 2018年11月30日(金)

会 場 : 大阪大学 医学・工学研究科 東京
プラント (東京都中央区)

定 員 : 50名 (申込み先着順)

聴講料 : 会員 (協賛学協会会員を含む)
30,000円, 非会員 50,000円

問合せ先 : 溶接学会 講習会係

TEL : 03-5825-4073

FAX : 03-5825-4331

E-mail : jws-info@tg.rim.or.jp

第8回スペースデブリワークショップ

主 催 : 宇宙航空研究開発機構 研究開発部
門

後 援 : 日本航空宇宙学会

開催日 : 2018年12月3日(月)～5日(水)

会 場 : 宇宙航空研究開発機構 調布航空宇
宙センター (調布市)

参加費 : 無料

フェロー候補者推薦の公募

当学会では、平成 24 年度にフェロー会員制度を発足させ、これまでに 153 名のフェローの方を認定いたしました。フェロー会員制度の目的は、航空宇宙工学と社会および本会の発展に顕著な貢献をなし、現在も活躍中の正会員に日本航空宇宙学会フェローの称号を授与することで、本会会員の地位を向上させ、国際活動をより円滑にし、更には本会のより一層の活性化を図ることです。今年度も新規の推薦を受付け、来年度の認定へ向けての作業を開始いたしました。

フェローの称号は推薦された正会員のうちから選考および認定を経て授与されるものとしており、その推薦の方法は原則として理事会からの推薦、または支部あるいは部門委員会、そして正会員からの推薦としております。正会員からのご推薦をされる時は、フェロー 2 名以上を含む 3 名の推薦者が必要であり、候補者と異なる機関の推薦者を 1 名以上加えることが規定されています。

フェロー選考委員会が推薦された方々からフェロー候補者を選考し、そのフェロー候補者の選考報告をもとにして、理事会においてフェローを認定します。新規に認定された方へは、毎年 4 月開催の定時社員総会においてフェロー認定証を交付する予定です。なおフェローに認定された場合、本会へ寄付をお願いする予定ですが、フェロー本人の申し出によりフェローの称号を返上することができるものとしております。

フェローの称号を受ける資格としては、会員歴 15 年以上で、これまでに航空宇宙工学分野と社会および本会の発展に顕著な貢献をなされ、現在も活躍中の 45 歳以上の正会員とし、年齢の上限は特に設けておりません。

フェロー選考にあたって考慮に入れる事例は以下のとおりであり、2 項目以上に該当する被推薦者あるいは第(2)項で特に顕著な実績をあげた被推薦者のなかからフェロー候補者を選考します。

- (1) 日本航空宇宙学会論文賞あるいは技術賞の受賞実績（奨励賞は参考とします。）
- (2) 本会の役員、支部長、部門委員長を務めた経験（評議員、代議員、支部幹事 等の地方支部各種委員は参考とします。）
- (3) 本会主催国際会議の組織委員長あるいは本会共催国際会議の日本開催時の組織委員長を務めた経験がある。
- (4) 国際的な学術団体等で著名な賞、称号を受けている。
- (5) 技術・製品開発あるいは発明で社会的に評価が高い。
- (6) 論文、著作、出版物で社会的に評価が高い。
- (7) 多大な功績を社会あるいは本会の発展に成した。
- (8) その他（(1)～(7)以外について特記すべき事項がある。）

ご推薦にあたっては、上記(1)～(8)の2項目以上に該当する方あるいは第(2)項で特に顕著な実績をあげた方をご推薦くださるようお願いいたします。推薦される方がおられる場合は、学会ホームページに掲載された推薦書用紙を用いて、10 月末日迄に当学会事務局宛に送付くださるようお願いいたします。

なお、推薦いただいた方のなかから候補者を選考しますので、最終決定は必ずしもご推薦どおりにならないことがありますので、ご了承のほどお願いいたします。従いまして、被推薦者の内諾をとっていただく必要はありません。また本推薦制度は毎年行う予定としております。

フェロー認定者一覧は、学会ホームページ内「学会紹介」ページの「フェロー制度」をご覧ください。

以上

平成30年度「空の日・宇宙の日」記念特別講演会

「空の日・宇宙の日」の記念行事の一環として特別講演会を開催します。

講演1では、ホンダにおける航空機エンジンの開発の歴史と苦労話、事業化に至った経緯、Honda Jet に搭載されている小型ターボファンエンジン「HF120エンジン」の特徴について紹介します。

講演2では、今注目が集まっている小型ロケットによる宇宙開発利用の産業化に関連し、今年打上げ実証実験を行ったSS-520-5号機計画の概要についてお話しします。宇宙科学研究所が取り組む次世代向けの技術開発の一例として、民生部品実装を行った宇宙機開発とその成果、そして今後の科学研究への展開などについて紹介します。

演題&講師：

講演1 「ホンダにおける航空機エンジン開発への挑戦」

株式会社本田技術研究所 執行役員

航空機エンジンR&Dセンター担当

輪嶋 善彦 氏

講演2 「民生部品の軌道上実証を目指したSS-520-5号機による

超小型衛星の軌道投入実験の成果」

宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所

宇宙飛翔工学研究系 准教授

羽生 宏人 氏

日 時：平成30年 9月11日（火） 開場18：00 講演会18：20～20：00

会 場：航空会館 7階 大ホール（東京都港区新橋 1-18-1）

<http://kokukaikan.com/about/access>

【交通案内】(1) JR新橋駅 日比谷口 徒歩5分

(2) 地下鉄 東京メトロ銀座線・都営浅草線 新橋駅 ⑦出口 徒歩5分

(3) 地下鉄 都営三田線 内幸町駅 A2出口 徒歩30秒

参加費：無料

定 員：200名（事前申し込み制、申込み先着順により定員になり次第締め切ります。）

講演会名（「空の日・宇宙の日」記念特別講演会）及び参加予定者の氏名（フリガナ）を記して、メール又はFAXでお申し込みください。席に余裕のある場合は当日入場も可能です。

申 込 先：一般財団法人 日本航空協会 文化情報室

メール：bunka@aero.or.jp ファックス：03-3503-1375

共 催：日本航空宇宙学会、日本航空技術協会、日本航空協会

問合せ先：日本航空宇宙学会事務局 電話：03-6262-5313

【昨年度より、事前申し込み制にしております。ご注意ください。】

関西支部 第469回航空宇宙懇談会・見学会

日時： H30年10月19日(金) 15:00~17:00

会場： JALエンジニアリング(株)
大阪航空機整備センター

(〒563-0034 大阪府池田市空港2-1-15
日本航空大阪整備格納庫)

大阪航空機整備センターは、リージョナルジェット(RJ)機の機材品質向上を目的に、2016/4/1に、J-AIR整備部とJALECの統合により設立されたRJ機の主要整備拠点である。RJ機(E170, E190)の運航整備、重整備、および、大型機の運航整備を実施している。

[交通アクセス]

- ・大阪モノレール 大阪国際空港駅から徒歩10分
- ・大阪国際空港(伊丹空港 徒歩10分)

※ 場所詳細については、地図検索HPにて、「日本航空大阪整備格納庫」と検索ください。

※ 集合場所は、空港施設大阪総合ビル前(大阪府池田市空港2-2-5)になりますので、ご注意ください。

【航空懇談会・見学会】

14:30 空港施設大阪総合ビル 前にて集合
15:00~15:15 大阪航空機整備センターの概要説明等
15:15~16:15 整備センター見学
16:15~16:45 質疑応答等
16:45 解散

参加費：無料

* 参加は学会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝えください。特に、学生の見学者を歓迎します。

参加人数：会場の受入れの都合上、先着30名までとさせていただきます。人数が超過する場合は参加をお受けできない場合がございますので、予めご了承ください。

参加登録：参加ご希望の方は、①氏名、②所属、③役職を9月28日(金)までに、下記事務局までご連絡ください。

問合せ先：

〒658-0027

兵庫県神戸市東灘区青木1-1-1

新明和工業(株)航空機事業部内

日本航空宇宙学会 H30 年度関西支部事務局

<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>

TEL：078-412-9159(柿本)

E-mail：jsass.kansai2018@shinmaywa.co.jp

【有料会告】

公立大学法人首都大学東京 東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科教員公募

- 【公募人員】 教授又は准教授 1名
【所属】 東京都立産業技術高等専門学校 ものづくり工学科 航空宇宙工学コース
【勤務地】 高専荒川キャンパス 〒116-0003 東京都荒川区南千住8-17-1
【専門分野】 航空機整備、航空工学(構造系)
【担当科目】 構造力学、材料力学、航空機基本技術、実験・実習、その他
【応募資格】 ① 高専での教育・研究に理解と強い意欲がある方
② 学生指導に熱意をもち、本校の運営に積極的に貢献できる方
③ 航空機整備訓練課程及び航空従事者養成施設を担当するのに必要な能力及び航空技術者の技能証明(固定翼)を有している方
④ 航空工学(構造系)及び基礎的な工学の科目が担当できる方
【着任時期】 平成31年4月1日
【応募締切】 平成30年9月21日(金) 必着
【問合せ先】 ①公募全般： 公立大学法人首都大学東京 総務部人事課人事制度係
TEL：042-677-1111 内1027 E-mail：kyoinsaiyo@jmj.tmu.ac.jp
②専門分野：高専荒川キャンパス 教務主事 三林 洋介
TEL：03-3801-0145 E-mail sanba@metro-cit.ac.jp
【その他】 詳細は、当大学法人のホームページをご覧ください。
http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html

【有料会告】

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授・准教授 公募

1. 公募職種及び人数： 教授（教育職）3名 准教授（教育職）1名
2. 配属部署：宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系、学際科学研究系および宇宙機応用工学研究系
3. 職務内容及び求める人材像
ISASの探査領域を広め、特徴のあるミッションを創出し続けていくため、高出力プラズマ推進を中心とした次世代宇宙機推進の研究開発における強いリーダーシップをとれる人材（高出力プラズマ推進分野・飛行系教授）、超小型探査機の研究開発を中心メンバの一人として進めるとともに将来の超小型探査機による探査戦略とミッション計画も主体的に立案し推進できる人材（超小型探査機分野・学際系教授）、将来の高度な宇宙科学ミッションに要求される高精度航法誘導制御及び宇宙ミッション設計に関わる研究開発における強いリーダーシップをとれる人材（姿勢制御分野・宇宙機応用系教授）、および、現在及び将来の宇宙科学研究所の太陽系探査ミッションにおいてその場観測を実現するためのメカトロニクス技術の研究開発を主導する人材（メカトロニクス分野・宇宙機応用系准教授）。
4. 着任時期： 決定後できるだけ早い時期。ただし、機構の予算状況により、本人との調整を要する場合があります。
5. 応募締め切り：
2018年 10月 15日(月) 9時30分(日本時間) 必着
6. 問い合わせ先：科学推進部人事担当
電話：050-3362-2695 E-mail: isas-jinji@ml.jaxa.jp
7. 詳細はホームページ http://www.jaxa.jp/about/employ/educator_j.html を参照のこと

第14回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト開催

開催日程	2018年9月28日(金) 9月29日(土) 9月30日(日)
開催会場	大田区総合体育館
主催	一般社団法人 日本航空宇宙学会
共催	東京都大田区, JAXA(宇宙航空研究開発機構), 特定非営利活動法人大田ビジネス創造協議会(OBK) *共催は全て予定です
協賛企業	東レ(株) ソレキア(株) ボーイング・ジャパン(株) KYB(株) (株)和田製作所 住友精密工業(株) 三菱重工(株) AZAPA(株) モノづくり日本会議/日刊工業新聞社 (株)ジャムコ五光物流(株) 全日本空輸(株) 税理士法人高野総合会計事務所/高野総合コンサルティング(株) エアバス・ジャパン(株) (株)羽生田鉄工所 多摩川精機(株) 多摩川精機販売(株) ダッソー・システムズ(株) (株)CLUE (株)スペースエンターテインメントラボラトリー (株)ビックサイト (一社)21世紀ニュービジネス協議会 (株)Japan エアロインスペクション (株)城南サービス (一社)日本航空宇宙工業会 新日鐵住金(株) 東京航空計器(株) (株)IHI 東京蒲田ロータリークラブ ファナック(株) ヤマハ発動機(株) (株)イームズラボ 長野県産業労働部ものづくり振興会

ユニークデザイン部門

競技するミッションの指定は行わない。参加チームは行うミッションを各自で設定し、指定する方法で予め申告すること。申告された内容に従って最大飛行時間内にミッションを行い、ミッションの有用性や達成度、機体の特性、チームによる発表について評価を行う。

一般部門

滑走路から飛行を開始し、ミッションエリアにて各ミッションを完了したのち、滑走路に帰還する。最大飛行時間内に指定されたミッションを行い、機体の性能および操縦性を評価する項目の総合点を競う。

マルチコプター部門

ヘリポートから飛行を開始し、ミッションエリアにて各ミッションを完了したのち、ヘリポートに帰還する。

自動操縦部門

滑走路から飛行を開始し、ミッションエリアにて各ミッションを完了したのち、滑走路に帰還する。最大飛行時間内に指定されたミッションを行い、機体の特性および自動操縦装置の性能を評価する項目の総合点を競う。

インターネット中継とコンテストの観戦について

コンテストの観戦・見学は、運営上の混乱をさけるため、一部立ち入り制限区域を設けますが、基本的に自由です。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://indoor-flight.com/>